

コミュニティ活動って？

寒い日が続きます。皆様お変わりありませんか？
今回の『しあわせ浅生』は、「もし、私たちの街に災害が起こったら？」という事について考えてみました。
自分一人ではとても対処できない災害が起こったら：そんな時、大きな力となるのがコミュニティ活動です。

何それ？

一定の地域に居住し、所属意識を持つ人々の集団が、関連機関や施設と連絡をとり合い高齢者や障害をお持ちの方も全員が安全な安心した生活ができるように援助することです。地域社会の力を発揮するという事です。
「どうやって？」

一月の中旬に、戸畑中央小学校で戸畑区防災訓練が行われました。数日後、浅生市民センターでも、浅生地区の防災についてサロンでお話をさせていただきました。

「どうやって？」の答えには、まだ遠いかもしれませんが、二ヶ所の防災の話を報告します。

戸畑区防災訓練の報告

於 戸畑中央小学校

- ・午前9時、地震発生!! (想定 避難訓練開始)
- ・参加者の人数は、200名をはるかに超える数
- ・3班に分かれ ①北九州で想定される災害は？
②倒壊した家から人を救うには？
③地震体験車で震度6と震度7を体感
④けがをした人の応急手当
- ・最後に炊き出し訓練。ごはんと汁物の試食

＜災害が起こったら＞

- 1、まず、自身と家族の安全を確保
- 2、まわりの家、近くの人々の安全を確認
- 3、家に入る時は、安全を確かめて
- 4、けが人がいる場合は、救急車を呼ぶ



浅生地区の防災は...? 於 浅生市民センター

第6回すこやかサロン 1月22日(火)

《サロン後の感想》

- ・備蓄するものが分かった。
- ・浅生に引っ越してきて日が浅いので、この地域の防災が分かって良かった。
- ・独り暮らしなので防災の自信がついた。
- ・心配だったが、話が聞けて良かった。
- ・ごはんのパック詰めや、汁物の配せん、隣の人お世話等、皆さん進んで仕事をしてもらって助け合いがうまくいった。



戸畑区役所、防災担当の住田さんより、浅生地区に的をしばってお話を聞きました。
この地区の人たちは、海も山も少し離れているので、大きな災害にはならず、被害も少ないだろうと、テレビで見る様な災害風景は予想できないのではないのでしょうか。しかし、県内には7つの活断層があり、将来大きな地震が予想されます。地震はどこでも可能性があります。最も重要なのは、事前の備えと早めの避難です。



- ・事前の備え
- ・家具類の固定
- ・食料の備蓄
- ・避難場所の確認 等
- ・非常食を作って試食しよう
- ・ごはん(アルファ米)の
出来上がりの速さにびっくり。
- ・意外とおいしい。

今年、子ども会の会長をしています。年間最大の行事はスポーツ大会です。低中高学年に分かれて、他の地区と球技の試合をします。試合前の二週間、子ども達は練習を頑張ります。勝負は時の運、ですが試合後の打ち上げは練習を頑張った分、盛り上がりです。その他、戸畑祇園やセンター等の行事を通じて、子どもとの間にしか出来ない体験ができています。違う学年の友達もたくさん出来、情報交換しています。保護者も同じです。
「子ども会は役員ができないから参加は...。」という声を聞きますが、一年交替だし、何より子供たちが喜んでくれるから何とかやれます。プリントやお菓子配りの時には、子どもも一緒に助手をしてくれ楽しいです。ハロウィンの時、近くのおばあちゃんを訪ねたりして地域の付き合いも広がって来たようで嬉しいです。

浅生地区の子やかサロン
(ある会長の話)

本年度最後のすこやかサロンです。おおいした観光大使・矢野大和さん(実は神社の宮司さん)による「笑って元気」のお話をお聞きします。きっと心が温かくなる事でしょう。皆さん、お誘いあわせの上、浅生市民センターにお集まり下さい。

笑って元気
皆さんで一緒に!!
第7回
すこやかサロンお知らせ
二月十八日(月)十時~十二時
浅生市民センター二階
大会議室

